



ここの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011 ~ 2012 年度
国際ロータリー会長
カルヤン・バネルジー

THE ROTARY CLUB OF SHIZUOKA WEST Dist. 2620 R.I.

静岡西ロータリークラブ会報

会長 渡辺憲治
会長エレクト
副会長 杉山元
幹事 加藤博一
副幹事 金原康之

事務所 / 静岡市葵区伝馬町 9-3 芝田ビル 3F
TEL 054-254-5611 FAX 054-221-0515
<http://www.shizuoka-west-rc.jp/>

| |
|-------------------|
| 例会日 毎週水曜日 12:30 |
| 但し第一水曜日 18:30 |
| 例会場 ホテルセンチュリー静岡 |
| TEL. 054-284-0111 |



WEEKLY BULLETIN

第1730回 2011年9月14日 (2011年~2012年) №.1713

◎司会幹事 加藤博一君
◎点鐘会長 渡辺憲治君



◎ロータリーソング

「西クラブの歌」

ソングリーダー 川崎友和君

◎お客様・ビジター紹介

常葉学園橘高等学校

校長 吉村耕司様



教員 小林博昭様

教員 鶴橋典子様

米山奨学生 王明永様

◎会長挨拶

会長 渡辺憲治君

「新世代フォーラム」

皆さんこんにちは。

先週は「ガバナー公式訪問」で東日本支援、その寄付金の扱い方、富士登山、カルヤン・バネルジー RI 会長のかかげたテーマの解説などがあり、当クラブの印象は「概ね良好」だったようです。皆様のご協力に感謝します。

今月は「新世代」のための月間です。そこで今日は常葉橘高校インターフェクトクラブの顧問教官の吉村耕司校長先生をお招きして「新世代」へのかかわり方などのフォーラムを行います。吉村先生には後ほどご挨拶をお願いしております。

さて、わが静岡西クラブにおいては、インターフェクト、青少年育成会、優秀生徒表彰、育成会スマイルなど「新世代」に期待し大切に育てようという気持ちが大変強いようにおもわれます。そのきょうはそのインターフェクトですが、一時活発だった時期もありましたがここ数年は会員生徒数が少ないと存亡の危機に陥ったこともあります。しかしながら今泉、川崎さんそして今年度担当の切りこみ隊長西前さん白鳥三和子さんたちの地道な努力が実をむすび、担当の先生方のご尽力もあって今年度は大量10数人の生徒の参加が得られました。これは夢のようなできごとですが具体的な活動はこれからというところです。

そんな中、次の杉山年度にはインターフェクト年次大会が当クラブ主宰で行われる予定です。ちなみに前回は日大三島高等学校で行われ、新世代委員はそこに参加しじっくり観察してきました。本日のフォーラムでは「本年度年次大会の報告」と「来年度年次大会について」がテーマとなります。次年度のことですが今年から用意をせねばなりません。ロータリアンはセットアップをして影で支え、あくまで参加した生徒主体のスタンスで臨みましょう。

終わりに一言、今年度の目標は、楽しく魅力



的なテーマで全員集合例会を達成したい。会員増強・純増1名です。皆様のご協力をお願いいたします。以上で会長挨拶終ります。本日の「元気ソング」は新世代にちなんで古い歌ですが「若者たち」です。ギター伴奏は望月行雄さんです。

◎幹事報告

- ① G S E ホームステイ受入
- ② I M の開催依頼
- ③ 次週臨時総会
- ④ 新会員の研修会



◎ロータリーの友紹介

富田和夫君
鈴木英生君



富田和夫君



鈴木英生君

◎スマイル発表と出席報告

沼田時子君

会員 39名中 出席 34名
先々週の改正出席率 88.89%



渡辺憲治君：橘高等学校の吉村校長先生はじめ皆様、ようこそお越しくださいました。

望月行雄君・杉山元君・鈴木礼子君・西前寛丈君・白鳥三和子君：本日は奉仕プロジェクト委員会、新世代フォーラムです。橘高校吉村校長先生、鶴橋先生、小林先生ようこそお越し下さいました。

富田英児君：橘高校の皆様をお迎えしてスマイル
鈴木英生君：橘高校インターフェクトクラブの先生方、よろしくお願ひします。

満井義政君・山崎雅光君：残暑厳しいですね。

米山奨学生の王さんを歓迎してスマイル。

中村孝昭君：お月見団子、おいしゅうございました。

朝羽二三夫君・沼田時子君：なでしこジャパン、オリンピック出場おめでとう。

育成会

袴田文治君・内田英男君・榎一夫君・水元正宏君・白鳥勝平君

◎新世代フォーラム

「奉仕プロジェクト委員会」
インターフェクト年次大会について



橘高校校長先生



白鳥三和子君



西前寛丈君

次回：9月28日(水)12:30

会場：ホテルセンチュリー静岡

(文責：鍋田芳久／写真：朝羽二三夫)